

和泉川観測・観察

水位・水質・生物

2026年2月

東山の水辺

日	曜	時刻	水位		雨量	気温	水温	PH	電導率	その他(生物、透視度等)														
			cm	目視						流量	mm	°C	°C	μS	ア	オ	カ	ザ	ヌ	K	その他	★ オリオン座		
1	日	17:45		干上り		6.0																	—	メジロ3 シジウカラ3
2	月	17:35		干上り	0	6.2																	—	ヒヨドリ1 アオジ1 ジョウビタキ1 シジウカラ2 ★
3	火	17:35		干上り		5.9																	—	ワカケホウセイインコ3 ジョウビタキ1 アオジ1 ヒヨドリ1 メジロ4 シジウカラ3
4	水	17:35		干上り		6.2																	—	ヒヨドリ1 アオジ1 メジロ2 シジウカラ2 ★
5	木	17:35		干上り		7.7																	—	キジバト1 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ2
6	金	17:35		干上り		10.1																	—	ヒヨドリ1 アオジ1 キジバト3 メジロ2 シジウカラ2
7	土	17:35		干上り	3	1.8																	—(雪・小雨)	ムクドリ群20 アオジ1 ヒヨドリ1シジウカラ2
8	日	17:35		干上り	11	-0.7																	—(雪)	コサギ1 キジバト2 アオジ2 ヒヨドリ1 シジウカラ2 ★
9	月	17:40	4.6			2.5	5.9	7.1	102														—	(結氷) アオジ2 キジバト1 ヒヨドリ1 シジウカラ2 ★
10	火	18:05	7.5			9.3	5.9	7.0	226														—	(結氷) ジョウビタキ2♂♀ アオジ2 キジバト2 ヒヨドリ1 シジウカラ2 ★
11	水	17:30	16.0			12	7.1	7.0	98														—	メジロ2 シジウカラ3
12	木	17:45		瀬切れ		7.7																	—	ヒヨドリ1 ドバト2 シジウカラ3
13	金	17:40		干上り		7.6																	—	ムクドリ群15 キジバト1 メジロ2 シジウカラ2 ★
14	土	17:45		干上り		11.7																	—	アライグマ(糞) メジロ1 シジウカラ2
15	日	17:40		干上り		14.9																	—	ヒヨドリ1 ドバト2 シジウカラ2
16	月	17:40		干上り		11.1																	—	アオジ1 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ3
17	火	17:40	6.3			10	6.3	7.8	6.9	72													—	アオジ1 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ3
18	水	17:40				0	7.8																—	アオジ1 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ3
19	木	17:40		干上り		6.2																	—	アオジ1 メジロ2 シジウカラ2 ★
20	金	17:40		干上り		6.8																	—	キジバト11 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ2
21	土	18:00		干上り		10.8																	—	モグラ塚 アオジ2 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ2
22	日	17:45		干上り		14.5																	—	アオジ1 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ2
23	月	17:40		干上り	1	17.9																	—	アカミミガメ冬眠覚醒 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ2
24	火	17:55		干上り		14.6																	—	アズマヒキガエル2交尾 ヒヨドリ1 メジロ2 シジウカラ2
25	水	18:00	27.4			52	8.5	10.3	7.0	76													—	アズマヒキガエル4産卵 ヒヨドリ1 メジロ1 シジウカラ2
26	木	17:50	10.9			9	10.9	11.0	7.1	61													—	アズマヒキガエル7産卵 ハクセキレイ1 メジロ1 シジウカラ2
27	金	17:40		瀬切れ		13.7																	—	アズマヒキガエル12産卵 ハクセキレイ1 メジロ1 シジウカラ2
28	土	17:40		干上り		14.9																	—	アズマヒキガエル10産卵 ヒヨドリ2 メジロ1 シジウカラ2
計			12.1	良0		98		8.0	7.0	106	0	0	0	0	0	0								

特記事項

異常気象による少雨のため干上り・小雨・瀬切れ・干上がりの連続となり、水生生物は今月も存在できなかった。オリオン座が観察できた日は少ないことから大気中の水蒸気量は多いはずなのに、降雨に至らないのはなぜなのだろうか……。乾燥が続く気温の変動も大きいためか、昨年10月に岸辺に蒔いた菜花の多くが枯れたり生育不良になってしまった。野生生物も生き難いであろうが、アズマヒキガエルは例年より10日ほど早く産卵した。冬鳥であるアオジは、「生物保護・観察区域」両岸の低木・草本が除去されたため人家沿いの生垣を活動場所としている。川の中は勿論、流域の生態系の劣化が進んでいる。